

終わりの世界から

わら あ しあわ
笑い合えるってすごく幸せなこと

それをきみから教えてもらったんだよ

ちい とし し
小さな時からなんでも知っていて

きみの趣味 その理想に合わせようとした

そんなきみがこっそり教えてくれた

す ひと としう え きれい じょせい
好きな人 年上の綺麗な女性

お ち からつか か こ
追いつけない だから能力使う 過去へとリープ

そこでまたきみと出会う また恋をするんだ

ぼろぼろに泣いてきみは探していた

とつぜん おもかげ
突然いなくなったあたしの面影を

はや かえ ち から いっぽうこう みらい と
早く帰ろ でも能力は一方通行 未来には飛べなかった

とお つた
遠くからきたってことを伝えたい

でもそれは駄目だってどこかで気づいてた

としう え み き
年上のあたしを見て訊くの

「あなたに似た人を探してます

なに し
何か知りませんか」と

ぼろぼろになってあの日を探していた

ばらばらになったふたりをつなごうとした

やめて あたし ここに居るよ だからどこにも行かないで

また春が来てきみはここを発つと決めた

「もしあなたがあの人だったらよかったのに」と残し

こい ぜいたく かんじょう
恋をする 贅沢な感情

それを思い出した

だから全力でその手を取る

ぼろぼろになってきみにほんとを^{つた}伝えた
ばらばらになった^{じくう}時^す空^こに吸い込まれていく
そして目^め覚^ざめたらそこは^{いちめんはいいろ}一面^{せかい}灰色の世界

て^も手に持^もってたのは^{ふる}古^{いちまい}びた一枚^{しゃしん}の写真
こんな^{いろ}色^{じだい}をしてた時代^{じだい}もあったんだ
そこで^{むじゃき}無邪^{わら}気に笑^{わら}ってる
きみに^あ会^あいにここから^{りーぷ}旅^{はじ}を始めた

また^{わら}笑^{わら}えるかな あたしこの^{せかい}世界^{せかい}で
きみの^{しゃしん}写^お真^おは置^{ある}いたま^だまで歩^だき出^だす